

わが郷土を語る (その24)

中尾 佐之吉

地震とわが御南の郷

…… 近県に発生した過去の大地震の記録からの考察 ……

今年1月17日、阪神・淡路島に大震災が発生し、死者5千人以上、家屋の倒壊焼失は約5万5千戸とか。それに道路・鉄道・港湾の破壊等大変な被害をうけた。

この地震の規模は震度6とも7とも言われている。当日は岡山も震度4の地震で夜明け前の眠りを覚まされたが、幸い被害は殆どなかったと言ってよい。最近、東北・北海道方面に大きな地震が度々おこっており、また、関東・東海地方ではかねてから大地震発生の可能性ありと報道されていた。

しかし、関西では震度5以上の地震が起こるとは予想していなかったらしく、今回の地震には防災体制がいろいろの面で破綻して、被害を一層大きくしたと言われる。岡山県でも災害対策の見直しが大きく取り上げられるようだ。

ところで、岡山でも阪神のような大きな地震が起こるであろうか。心配になってくる。そこで、近県で過去に発生した巨大地震の記録を調べてみる。

岡山県周辺で起こった過去の大地震調べ (理科年表による)

地震発生日(西暦)	震央		マグニチュード(M)	記 事
	北緯	東経		
1) 868-8-3	34.8	134.8	≥7	瀬戸・山城 辺り、山崎層によるものか
2) 887-8-26	33.0	135.0	8-8.5	前瀬トラフ沿いの巨大地震
3) 1361-8-3	33.0	135.0	8.25-8.5	畿内・土佐・阿波 前瀬トラフ沿い大地震
4) 1707-10-2	33.2	135.9	8.4	五畿七道に及ぶが西最大級地震の一つ
5) 1733-9-18	補	補	6.6	安芸地方、因幡でも地大いに震う
6) 1778-2-14	34.6	132.0	6.5	石見地方。安芸より備前まで強く震う
7) 1789-5-11	33.7	134.3	7	阿波地方、岡山でも有感
8) 1854-12.24	33.0	135.0	8.4	安政南海地震
9) 1905-6-2	34.1	132.5	7.25	安芸・伊予地方地震
10) 1909-11-10	32.3	131.1	7.6	宮崎県西部、岡山にも被害ありとか
11) 1927-3-7	35.5	135.2	7.3	北丹後地震。(震央距死者2925人)
12) 1943-9-10	35.5	134.1	7.2	鳥取地震(震央、大被害あり)
13) 1946-12-21	33.0	135.6	8.0	南海地震(岡山、死者52人等)

上表は、岡山でも相当揺れたであろうと思われる大地震をピックアップしたのであるが、No13の南海地震をのぞいて、この地方の被害状況はわからない。県史などの資料をみてもあまり触れてないところをみると大した被害は無かったのかもしれない。(注1)それは、いずれも、震源が岡山から遠かったことと、昔は人口の密集した大きな都市がなかったことにもよろう。しかし、そうは言っても恐れねばならないのは南海トラフ(注2)沿いの巨大地震である。上表でのNo2、3、4、8とNo13の地震である。震源地はいずれも紀伊水道沖である。震度は、最大級のM8以上で、その範囲は、あるときは「五畿七道」に及ぶとも書かれている。つまり、地震波が全国(九州)に及んだこともあったと言うのである。

昭和21年の南海地震は、私の体験した一番大きな地震である。この地震

は、岡山では震度4の中震ということであった。今度の阪神大震災でも、この地方の震度は同じく4と発表されているが、南海地震のときはもっとも大きく感じられた。屋根瓦は落ち、道路の電線はずたずたに切れた。幸いこの村(野取、新倉)では、死者はなく倒壊家屋も極めて僅かだったようだ。

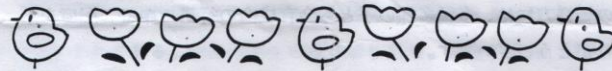
とにかく、過去の発生した大地震を調べてみると、南海トラフ上の巨大地震が過去何回も起こっているということがわかった。そして、今後も起こるであろうことも疑うことはできない。この地方は、活断層に因る直下型地震に見舞われることはないだろうと言えるが、ご承知のように沖積層の軟弱地盤ではある。最近には昔に比べ建築の耐震技術が格段に進んでいるので、無闇に心配はいらないと思うが、決して地震を甘くみてはなるまい。

注1「今村史」の天災地変の項に御津郡誌から転載された部分を含め地震のことが書かれていて、上表のNo5、6、8、13のことがみられる。しかし、No13を除いてこの村の被害状況は不明

注2「南海トラフ」は西南日本の太平洋側に横たわる海底深谷のことで、フィリピン海プレートがこの南海トラフの下にもぐり込み、圧縮破壊が起こって巨大地震が発生するという。

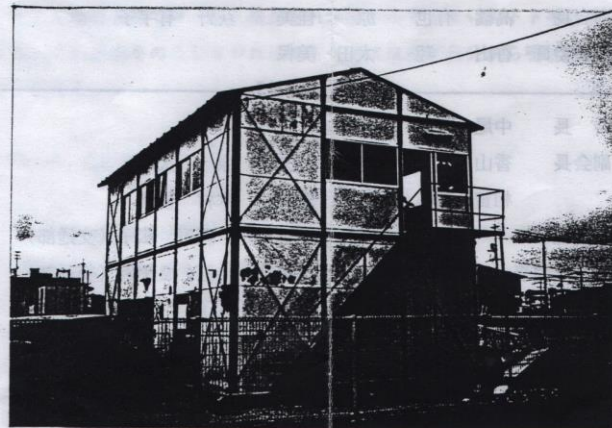
● 会員の移動 ● 転入(持ち家)

世帯主	住 所	電話番号	家族名	備考
猪子 啓二	田中		久美子	7組



新愛育委員

どうぞよろしく 中尾 美子・ 和氣 和子・ 原 笑



◆ 役目を終えた旧プレハブ公会堂 次は2号公園の整備だ ◆

★ 町内会だより ★

町内会の役員が平素どのような活動をしているか、役員会ではどのような話し合いがなされているのか、皆さんにお知らせしていくことも私ども役員の大切な務めでもあります。又当新聞の本来の使命でもあると思ます。なお、お知らせするだけでなく、皆さんのご意見をお聞きし、よりよいものにしていきたいと念願しております。初めての試みとして3月26日の役員会の概要をお届けします。

- 町内運動会について
  - 期日 4月29日(土) 予備日30(日)
  - 町内会役員の役割と分担-準備・会計・プログラム等配布・弁当券等 当日分担は総務係
- 平成7年度の定期総会について
  - 日時 4月9日(日) 午後7時
  - 7年度の町内会事業計画案及び予算案の審議
  - 町内会法人化-法人化の議決・規約の改正・資産の確定
  - 総会当日 準備・分担-司会、記録、会場設営、委任状等
- 平成7年度の各専門部の活動について
  - 新公会堂の理事の選出 (町内会役員が理事となる)
  - 活動を活性化させるための方策(可能な部は部会をもつ)
- 町内会費の集金
  - 集金の時期-前期(5月末まで) 後期(10月末まで)
  - 公会堂資金分割払の方は町内会費の集金の時お願いする。

◆ 感 謝 ◆

- 阪神大震災に田中野田町内より2月13日に山陽新聞社を通して15万465円を送らせて頂きました。遅ればせながら、皆様のご厚志ほんとに有り難うございました。
- 公会堂建設委員会は、本来の役目を終えて無事本年3月末をもって解散致しました。長い間ほんとにご苦労様でした。

あとがき  
昨年この新聞にご投稿くださいました方々に厚くお礼を申し上げます。本年もこの新聞が田中野田の皆さんに愛される魅力のあるものになりまようご指導、ご協力をお願い致します。

原・和氣